

現上本郷市立病院はヘイで囲まれ放置?大赤字&耐震不足の東松戸病院は継続?

これでいいの!

赤字続きの病院経営!これが経営の実態だ!

市立2病院の経営は、大変に厳しいのが実態です。そのため経営には、毎年多額の税金が投入されていて、特に直近の3年は30~40億円とその額も膨らんできています。(表1参照)

表1 平成26~28年度 市立病院への税金投入額表 ()内は売上(医業収益)

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
現上本郷病院	27.0億円(135.8億円)	22.5億円(143.6億円)	29.4億円(152.2億円)
東松戸病院	10.2億円(16.0億円)	12.1億円(16.0億円)	11.3億円(16.9億円)
税金投入額合計	37.2億円	34.6億円	40.7億円

大ピンチ!瀕死の状態!?東松戸病院の経営実態!その原因は?

表1から、税金投入額だけ見れば現上本郷病院のほうが多額となっていますが、売り上げに対する率で見れば東松戸病院のほうが、深刻な状況です。

表2 病院別人件費比率&診療単価表 (平成27年度決算より)

	人件費率	入院単価*	外来単価
上本郷病院	65.8%	63,052円	16,976円
東松戸病院	101.7%	21,839円	7,993円

*入院患者1日平均単価

その原因は、表2からも、人件費比率(人件費÷売り上げ)の高さなのは明白です。

低い診療単価の東松戸。けど、給与水準は上本郷と同等 →人件費比率高騰!

それでは、なぜ、このように東松戸病院の人件費比率は高くなってしまったのでしょうか?

その答えは、ズバリ!診療単価にあると思います。

上本郷病院は急性期病院で、手術等の高度医療が行われているので、単価は高くなりますが、東松戸病院は、急性期病院の退院患者等を受け入れる後方支援病院なので、手術等は行われず、単価は低くなりがちです。(表2参照)

しかし、両病院とも働く職員は公務員なので、給与体系は同等であり、上本郷で手術をする医師も、東松戸の手術しない医師でも給与体系は一緒です。

ここに、東松戸病院の人件費比率の高さの原因があると思われる。

市立病院は本当に2つ必要なのか?1つではダメなのか?

現在、議会の多数派からは「上本郷病院の跡地は更地にして売却すべき!」との声も挙がっています。赤字続きの病院ですので、1つでもよいと考えるなら当然の話かもしれません。さて、そもそも市立病院は2つ必要なのでしょうか? 1つではダメなのでしょうか?

その答えの一つは、国の医療制度にあると思います。

現在の東松戸病院は急性期病院であり高度医療を担う病院です。そのため、医療単価は高くなっており、例えば、一日の入院単価は、約6万3千円となっています。

逆に、急性期病院退院後の回復リハビリ等を担う東松戸病院の入院単価は約2万2千円となっています。(表2参照)

皆様ご存知の通り、国の医療費総額は伸び続けており、国はこうした医療費削減のために、高単価の急性期病院から、低単価のリハビリ病院への転院、そして、自宅へと早期シフトを進めています。

現上本郷病院のような1日6.3万円の病院での手術後、早期にリハビリ病棟のある1日2.3万円の東松戸病院への転院を進めることで、医療費の削減が可能になるわけです。

こうした病院の連携を進めるために、国は、急性期病院に対し「在宅復帰率80%以上を課し、これをクリアしないと、1:7看護による加算(上本郷病院で年約4億円)が取れなくなるとしています。

在宅復帰率80%以上をクリアするためには、退院後、復帰率にカウントできる東松戸病院にある回復リハ病棟や包括ケア病棟が必要となり、こうしたことから2病院は必要!との考えが生まれることとなります。

原ゆうじの考え!まずは構想3の検証!だめなら民間病院活用の検討を!

現在でも市の推奨案は構想3案としています。であれば、まずはこの構想3案が本当に実現できるのかの検証を行うべきと考えます。具体的には、7年前、改修工事後使っていた上本郷病院の2~4号館の状態がどうなのか?また、当時、27億円程度とされた改修費用の見込みは?そして、市が直営で2病院経営できるのか?の検証を早急に行うべきだと思います。

こうした検証の結果、仮に「市が二つの病院を経営することは困難」となれば、必然的に1病院体制となるわけですが、さて、本当に千駄堀新病院1つで大丈夫なのでしょう?課題があると思います。例えば、

課題①退院後の患者の行き先はどうするのか?

退院がスムーズにいかなければ、入院が長引き、診療単価が低下=経営が悪化。在宅復帰率80%が守れなければ、約4億円の減収=経営が悪化。

課題②東松戸病院で働く約160人の職員の処遇はどうするのか?

職員は全員公務員。解雇はもちろんできませんので、その処遇を決めなければなりません。こちらは、千駄堀新病院での雇用を最優先に検討を進めるのが、最善策と思われる。

以上から、私は病院の機能(役割)は二つ必要と思います。しかし、2病院を公(市立)で経営すること、特に、東松戸病院のような低診療単価の回復期の病院経営を行うことは、財政上厳しいと言わざるを得ません。ではどうしたらいいのか?

私は、民間病院の活用を検討すべきではと考えます。仮に、民間病院を誘致し、現東松戸病院の役割を担い、千駄堀新病院との連携が図られれば、新病院経営にとってもプラスだと思います。

なので、その際は、その民間病院に対して年間ある程度(1~2億円)の補助金を出してもよいかと思います。現状東松戸病院への年10億円程度の税金投入を考えれば、そのメリットは大きいと考えます。

原ゆうじはこうした民間病院活用策も視野に入れ、少しでも早く病院跡地問題が解決できるよう全力で取り組んでまいります!!

松戸市議会議員 原ゆうじ市政報告会のお知らせ! 5月14日(日)PM4:00~5:30 北松戸会館(北松戸駅東口徒歩5分) 入場無料! 予約不要!

お問合せTEL:070-5540-9565

皆様のお越しをお待ちしています!